

公契約条例・住宅リフォーム助成求め市との懇談次々と

10月18日に阪神土建労働組合西宮支部が、10月19日には西宮民主商工会が西宮市との懇談を行ないました。日本共産党議員団は当局とのパイプ役となって場所や時間の設定にかかわり、もちろん懇談にも共に参加して、それぞれの団体の要望実現に向けて奮闘しました。

阪神土建は公契約など四項目で懇談

阪神土建労働組合西宮支部は、公共事業における賃金切り下げに歯止めをかける「公契約条例」の早期制定や住宅リフォーム助成制度の創設など、事前に提出していた4項目の要望に対する当局の回答説明を聞き、率直な意見交換を行ないました。特に「公契約条例」については西宮市としてプロジェクトチームを立ち上げて、先進自治体に視察に行ったことが報告されました。



市と阪神土建との懇談の様子

また、西宮市がプロジェクトチームを設置していることに他の自治体から多くの問い合わせがあることも紹介され、「公契約条例」が全国的な関心事になっていることが明白になりました。

西宮民商は住宅リフォーム助成で

西宮民主商工会は、この間、小規模工事修繕希望者登録制度の実現に大きな役割を果たしてきましたが、今回は全国で急速に広がっている住宅リフォーム助成制度に絞って懇談を行ないました。すでにこの制度については、西宮市が来年度から実施する新たな「産業振興計画」の策定に向けて検討するという答弁を共産党議員団が議会で引き出しており、この12月には素案が策定される予定となっていることから、計画に盛り込まれるかどうか、瀬戸際の時期を迎えています。

住宅リフォーム助成制度は全国390を超える自治体で取り組まれており、抜群の経済波及効果を生み出すとともに、大きく落ち込んでいる建設業界の活性化にもつながることも具体的数字で示し、「是非とも計画に盛り込むように」と強い要望が行なわれました。

前号(No.575)団ニュースの浜甲子園幼稚園記事に誤りがありました。ここに、訂正した全文を掲載し、関係者・読者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

来年度の市立幼稚園21園の募集が10月3日から6日まで行われましたが、教育委員会は翌7日、浜甲子園幼稚園では応募者が13名しかなく定員の半数に満たないとして、「西宮市立幼稚園の休級・休園等に関する規程」により4歳児クラスを休級する、と発表しました。

応募者は10月12日の抽選日までに他園への希望変更を余儀なくされ、鳴尾東幼稚園では定数30名を超えた34名の希望がありました。休級に伴う特別の措置として抽選を行わず、出願者全員を受け入れることとしました。

浜甲子園幼稚園四歳児クラス休級に



また、未定の話としながらも現在の4歳児22名が進級し、25年3月に卒園すれば、浜甲子園幼稚園は閉園する、との見解も示されました。浜甲子園幼稚園の休級、閉園は公立幼稚園自体の定員が各30人減少することとなり近隣だけでなく、全市へも大きな影響を及ぼします。

今、幼稚園を含む幼児教育のあり方について、「西宮市幼児期の教育・保育審議会」で審議中です。そのさなかの今回の措置は、市民の利益や願いに逆行しています。